

やってみよう!! ワークシート



新聞には毎日、たくさんの記事や写真、広告がのっています。世界的な大ニュースから身近な地域の話までさまざまです。神戸新聞社は、その中から知ってもらいたいことや深く考えてほしい記事を取り上げ、ワークシートを使って自宅学習などに活用してもらっています。今回は、囲碁の世界でとても大きな成果を挙げた中学2年生のお話です。

史上最年少13歳11カ月で囲碁のタイトル「女流棋聖」を獲得した



仲邑 堇 さん



中学生のうちにタイトルを取りたい。プロ入り発表時の目標に中学2年で到達した。「本当にうれしいです」と笑みがはじけた。藤沢里菜女流本因坊(24)が樹立した最年少記録、15歳9カ月を1年10カ月も短縮した。

父はプロ囲碁棋士の信也九段、母の幸さんはアマチュア強豪。3歳で囲碁を始め、強国の韓国でも腕を磨いた。早くから頭角を現し2019年、英才枠制度でプロに。国際戦で苦戦が続く日本棋院が、反撃を指し設けた制度だ。当時最年少、10歳0カ月でのデビューは大きな注目を集めた。

その頃は多くの記者を前に言葉少なだったが、今は表情豊かにしっかりと考えを伝える。背も高くなり、囲碁の実力はそれ以上に伸びた。誰もが認める研究量あつてのことだが、周囲を味方につける人柄も成長を助けた。大阪から東京に拠点を移した際、一力遼棋聖、藤沢女流本因坊というトップ棋士が、共に勉強するため研究会をつくって迎えた。近い将来のライバルを育てることになるわけで、異例なことだ。人懐っこい性格と囲碁へのまっすぐな姿勢が、棋士仲間を引きつける。

すでに日本代表で国際戦に出場しているが、今後はタイトル保持者として臨む。「自分の力を信じて、楽しんで世界戦でも打ちたい」と高みを見据えている。

碁盤を離れるとよくしゃべるにぎやかな中学生だ。囲碁の勉強の息抜きはmilet(ミレイ)さんの曲を聞くこと。そのライブに行きたいとも話した。大阪府出身。

2月7日の朝刊にのった記事

①仲邑さんは何のタイトルを獲得し、どんな夢をかなえましたか。空欄を埋めましょう

囲碁の のタイトルを

の13歳11カ月で獲得し、当時最年少、 歳

カ月でプロ入りした時の「 のうち

にタイトルを取りたい」という夢をかなえた。

②プロ入りから何年何カ月でのタイトル獲得ですか

年 カ月

③記事を書いた記者は、仲邑さんの囲碁の実力が伸びた理由を何だと言っていますか。二つ

挙げましょう。

④タイトル保持者として国際戦に臨むことになる仲邑さんはどう話していますか。空欄を埋めましょう。

「 を信じて、 世界

戦でも打ちたい」

⑤あなたは今、何を頑張っていますか。

答えは26日の「週刊まなびー」126号よ。



もっとワークシートをやってみたいと思った人は、電子版「神戸新聞NEXT」の「神戸新聞NIE」コーナーでワークシートを検索してみてください。たくさんあるので興味のある新聞記事を選んでね。今回のワークシートの答えは、メール(kobe-nie@kobe-np.co.jp)か、はがき(〒650-8571 神戸新聞社「週刊まなびー」ワークシート係)で、名前と学年、または年齢を添えて25日必着で送ってね。正解者の中から、抽選で毎月10人に神戸新聞の記念品をプレゼントします。

12日週刊まなびー

ワークシートの
解答例

- ①①
- ②モンブラン
- ③丹波大納言小豆
- ④例＝学内アンケート結果を踏まえた
- ⑤自分へのご褒美のため
- ⑥自由記述